

賞

宮城県地球温暖化防止活動推進員 コミュニケーションチーム

受賞取組



前列左側から、川村真貴さん(7期)、佐藤郁子さん(5期)、後列左側から、後藤健一さん(11期)、佐藤俊彦さん(11期)、門間智史さん(11期)

環境出前講話による地球温暖化防止の普及啓発活動

平成30年度に宮城県地球温暖化防止活動推進員5名により結成。身近な行動を地球温暖化対策につなげてもらうことを目的として、生活に密着したテーマで出前講話や、環境イベントへの参加等により、広く普及啓発に取組んでいる。「食品ロス」から「水循環」まで、地球温暖化に関する題材を幅広く取り扱うとともに、「小中学生向け」と「高校生・大人向け」の資料をそれぞれ作成するなど、創意工夫が見られる。ストップ温暖化センターみやぎ※等との連携により、脱炭素社会の実現に向けた県民の機運醸成に向けて、普及啓発活動による波及性が期待される。

※宮城県地球温暖化防止活動推進センター



「学都“仙台・宮城”サイエンスデイ2019」の講話



「宮城県内高校の令和2年度ESD講演会」の講話



チーム打合せ(講話資料の検討)



「温暖化とハンバーガー」

みんなで一緒に
考えてみましょう！



講演時に使用する資料



「温暖化と食品ロス」 ～食べものが泣いている～

みんなで一緒に
考えてみましょう！



講演時に使用する資料

燃やすとCO ₂ はどんだけ出てくるの 生ごみの焼却処理によるCO ₂ 排出量		
可燃ごみ1t、 (1,000kg)あたり のCO ₂ 排出量	可燃ごみ1t、 (1,000kg)あたり の生ごみ含有率	生ごみ(約100g) あたりのCO ₂ 排出量
480kg-CO ₂ /t	10% (生ごみ100kg)	480g-CO ₂

・上記いずれも全連続燃焼式(ストーク式) 焼却炉
・可燃ごみ1tあたりのCO₂排出量 = (非エネルギー起源CO₂排出量) ÷ [可燃ごみ焼却量]
・非エネルギー起源CO₂とは燃料としての利用ではなく廃棄物の焼却等から生じるCO₂のこと

【小・中学生向け講話】
可燃ごみの焼却時に出てくる“生ごみ100gあたりのCO₂排出量”

小・中学生向けの講演資料

燃やすとCO₂はどんだけ出てくるの
生ごみの焼却処理と石油ストーブの比較

生ごみ約100gの焼却で発生するCO₂排出量と同じ
排出量となる“6畳用石油ストーブ”的運転時間は?

① 10分間 ② 30分間 ③ 50分間

【小・中学生向け講話】
“生ごみ100gのCO₂排出量”と同量となる石油ストーブの運転時間?

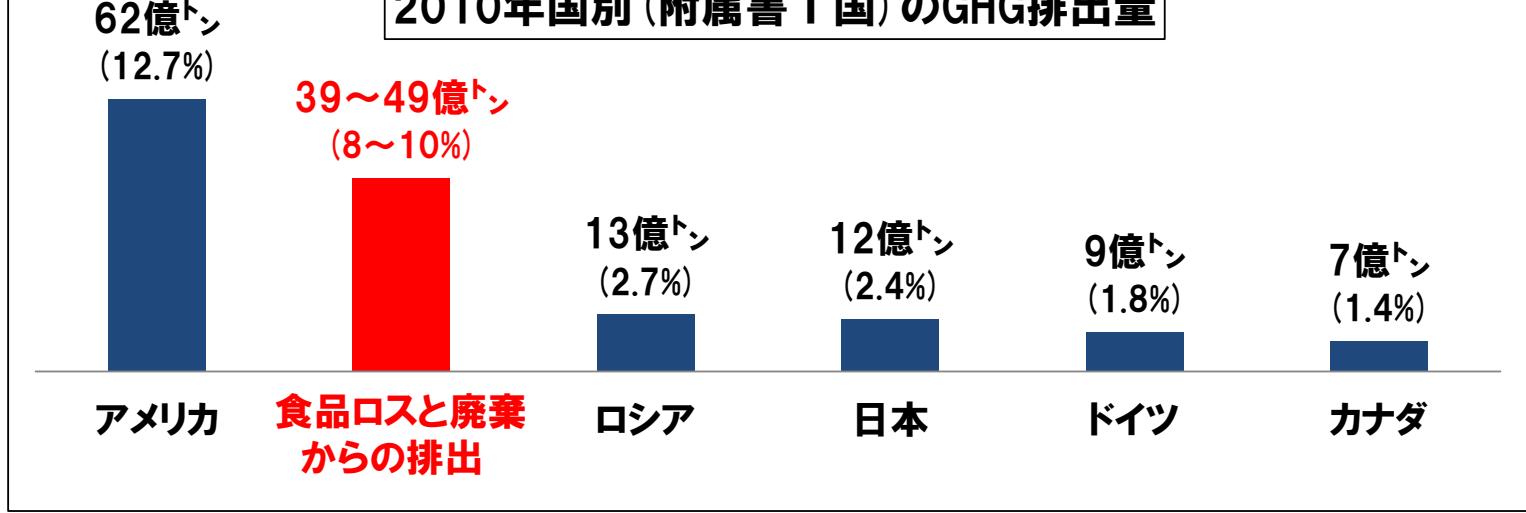
小・中学生向けの講演資料

「食品ロス・廃棄の削減」は世界中の喫緊課題

食品ロスと廃棄の削減が適応に寄与する

■ 2010~2016年の間、世界全体の食品ロス及び廃棄は、人為起源のGHG総排出量の8~10%に寄与した(確信度が中程度)。
■ 食品ロス及び廃棄の削減は、GHG排出量を削減し、食料生産に必要な土地面積の減少を通じた適応に寄与しうる(確信度が中程度)。

2010年国別(附属書I 国)のGHG排出量



【高校生・大人向け講話】
“世界の食品ロスと廃棄”からの温室効果ガス排出量

高校生・大人向けの講演資料

「食品ロス・廃棄の削減」は世界中の喫緊課題

日本の食品廃棄物の焼却・埋立割合

■ 事業系食品廃棄物等の焼却・埋立率(%)
■ 家庭系食品廃棄物の焼却・埋立率(%)

年度	事業系	家庭系
H20年度	94.9	21.6
H21年度	94.3	21.3
H22年度	93.8	17.7
H23年度	93.9	21.5
H24年度	93.7	17
H25年度	93.4	16.9
H26年度	93.3	17.1
H27年度	93.3	17.1
H28年度	92.9	17.4
H29年度	92.7	18.6
H30年度	92.7	19.3

【高校生・大人向け講話】
“事業系と家庭系の食品廃棄物”の焼却・埋立割合

高校生・大人向けの講演資料